

地域をつなぐ「エンジョイミュージック エレクトーンコンサート」

概要

交通の便が非常に悪い当館。高齢化による免許返上等により、サークル活動への参加者は減少傾向にある。それでも檣橋地域をつなげる要（かなめ）になっていきたいと考え、公民館だより「檣橋の輪」も発行しているが、講座を通して、参加者間に「檣橋の輪」を築き、拡げていきたいと考えている。今回は、音楽と一緒に楽しむことで「輪」をつなぎ、その様子をオンライン配信することで「輪」を拡げていきたいと考え、昨年度から実施を始めた「エレクトーンコンサート」の開設方法を工夫した。

講座内容

会場開催：令和6年4月20日、募集：30名、応募：27名

演奏をお願いした講師は、「皆さんに笑顔と元気を届けたい」と、聴衆参加型をモットーに演奏活動をしている、Kimitori（きみどり）というデュオのユニット。今回で、同講師による3回目のコンサートであるが、講師からの要望もあり、館長をはじめ公民館職員も、楽器演奏や歌唱等と一緒に出演している。

今回は、葛飾柴又を舞台にした有名な邦画のテーマ曲の演奏に合わせて、主役の役者に扮した館長が曲前後の口上や歌唱を行った。会場からは、満面の笑顔に満ちた拍手をいただくこともできた。

大喜利で有名なテレビ番組のテーマ曲を演奏する際には、参加者から募った有志と公民館職員で、カラフルな法被を羽織って打楽器で合奏した。

公民館職員手作りの楽器（ギロ）を使って参加者全員で合奏したり、曲に合わせて手作りの赤青の旗を使った旗振り体操をしたりする場面もあり、音楽を通して会場がひとつになっていると感じることができた。

YouTube 配信：令和6年4月26日～5月31日、視聴回数：258回

コンサートの様子は、千葉市生涯学習センター学習支援グループの方に協力をお願いして撮影・編集し、千葉市生涯学習センター登録の市内高齢者施設30か所に限定して、YouTube によるオンライン配信をした。当館の近隣にある「花見川いきいきプラザ」へは、手作りの楽器（ギロ）や赤青の旗の貸し出しも行った。YouTube の動画を見ながら一緒に合奏したり、旗振り体操をしたりしていただくことで、公民館での学びを地域にも提供することを試みた。



Kimitori (きみどり) のお二人



演奏に合わせ、仮装して歌う館長



参加者と一緒に法被を羽織って楽器演奏



参加者全員で、曲に合わせて旗振り体操



「花見川いきいきプラザ」のデイサービス参加者がYouTubeを見ながらいっしょに旗振り体操

参加者の声より

♣ 予想以上に音の広がりを感じられて、素晴らしいコンサートを見た気持ちになりました。エレクトーン2台でフルオーケストラのような重厚な演奏ができるなんて知らなかったのが、感動しました。様々なパフォーマンスも楽しませていただきました。贅沢な時間でした。また見たいです。

♣ 楽しいコンサートでした!! 参加して一緒に演奏できて良かったです。館長さんはじめ、職員の皆様も一丸となっていて、檣橋公民館、さすがです。

♣ 今回も楽しく聴かせていただきました。エレクトーンの様々な音色に感動。館長さんや職員の方の工夫をこらした趣向も楽しかったです。

YouTube 視聴者の声より

♣ 「花見川いきいきプラザ」のデイサービスで3回実施しました。利用者が日頃できないような体験をすることができました。皆さん楽しんでいました。今後も継続していただきたいです。

成果と課題

今回の講師による当館での演奏会は3回目。演奏そのものはもちろんだが、楽しいお話や聴衆参加型のコンサートということもあって、リピーターも多く、定着してきている。公民館職員の参加も好評を得ており、音楽を通じた、講師と参加者・公民館の一体感（「輪」）を感じることができた。

限定配信した YouTube の視聴回数は258回だったが、昨年4年ぶりに開催された文化祭でも、2日間で269名の来館者しかなかった当館としては、「258回も見えていただけた」と嬉しく感じている。さらに高齢者施設内では同時に大勢の方が視聴していると考えられるので、視聴者数では、1000名を超えるかなりの数になっただろうと推定できる。交通の便が悪く来館しにくい当館だが、学びの「輪」を地域にまで拡げることができたのではないだろうか。

今後も、別会場でのサテライト放映など、一歩先を目指した取り組みをめざして継続・実施していきたい。